
勇者オーデーン

ばんごはん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勇者オーデエーン

【Nコード】

N0402Z

【作者名】

ばんごはん

【あらすじ】

勇者として転生していただきます。

あなたの右手には魔を払い苦しむ人々をす食う力を与えました。

勇者ではなく、とある美の女神の救世伝説。

（前書き）

書きなぐり、試作品でございます。

「おでんよ」

「は？」

「だからおでん」

くすくすくす、彼に対して笑みを浮かべる。理解できないでしょうね。わざと大雑把な説明にしているからね。

「とりあえずあちらで死んでしまった私をこちらの世界で転生させていただけるということは理解しました。勇者の真似事をやれといわれたことも。」

あらあら、折角その手の事に抵抗がないらしい中学二年生とやらを選んで連れてきたのに意外と理性的ね？

「その勇者になるための力におでんを与えるといわれても困るのですが」

「ごめんなさいね、説明不足だったわ。あなたの右腕に宿った力は触れたものすべてをおでんに変えることが出来るの」

「……それどこかの王様にかけられた呪いと同じ系統のものですよね？触れたものすべてが黄金になるといいう」

「大丈夫よ。黄金は食べられないけれどおでんは食べられるから！」
なによ、その残念なものを見る目は。美の女神を馬鹿にしてるわね。

「こちらの世界では魔物の跳梁跋扈に食糧難も発生しているの。あなたが殴るだけで魔物は消え、食料へと変わる。ビバ！おでん！」
うわっ、目の光が消えた！これがうわさに聞くレイプ目とかいうやつね！正気は保っているかしら？

「魔物が消えるのはいいんですけど手で触れたくないようなものはどうするんです。ゲームでいうところの精霊とか幽霊とか毒の塊のようなやつは？持っただけでどんな名剣もおでんになりそうな」

「もちろん考えてあるわ！これをお使いなさい！」

「……串おでん……」

「なんでもおでんになるのだから、最初からおでんなら問題ないじゃないーい！」

「うわ殴りたい……右手で……」

「無駄よ、その力は私とあなた自身とおでんには効力を発揮しないの」

これ以上の説明は面倒くさくなってきたわ。さっさと送ってしましましょう。

「さあ、勇者オーデーンよ。かの地の邪悪を清め世界を救いなさい（ていつ）」

「なんだ、その名前は……！！！」

適当にうっちゃりを仕掛けけたら面白いぐらいの勢いで勇者は大地めがけて飛んでいった。

あ、着地に失敗してやんの。ふふふ、目が覚めたら驚くでしょうね、目の前の湖がおでんの湖に変わっちゃっているから。

私の美の女神。

本来、救世とか魔物退治とか食料対策とかはもつと地味な大地の女神とかが担当することだけど今回は例外。なぜなら、

最近おでんにはまっちゃって。

3食おでんにしたらダイエット効果もあつて美しさも女神力にもますます磨きがかかってきたわ。他の女神達にも薦めたら大好評。今では美 食 の女神と呼ばれるぐらいよ。

でもさすがにおでんを作るのが面倒くさくなってきた。女神としての力をおでん作成に使うと最高神が怒ってくるし。

神として人間達に作らせるといふ手はある。とはいえ日々の糧にすら困るこの地の住民には期待はできない。

そこで思いついたのがこの手。人間を助けると言う大義名分があれば女神の力を使うことが出来るからだ。人間は助かり、神々はおでんにありつけ、ことによったらご当地グルメな変わりおでんとも期待できるかも。

「さあ勇者オーデーンよ、世界を助けるのよ！（おもに私を）」

世界は救われた。確かに私の思惑通り世界はおでんに満たされた。

あの勇者野郎がおでんに餃子やシウマイを入れるような外道でさえなければ！はんぺんと牛筋を抜くんじゃないわよ！カレーおでんもやめてえええ！！

（後書き）

私、猫舌なのでおでんはそう好きじゃなかったり……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0402z/>

勇者オーデューン

2011年12月1日17時54分発行